

●最近の県内経済

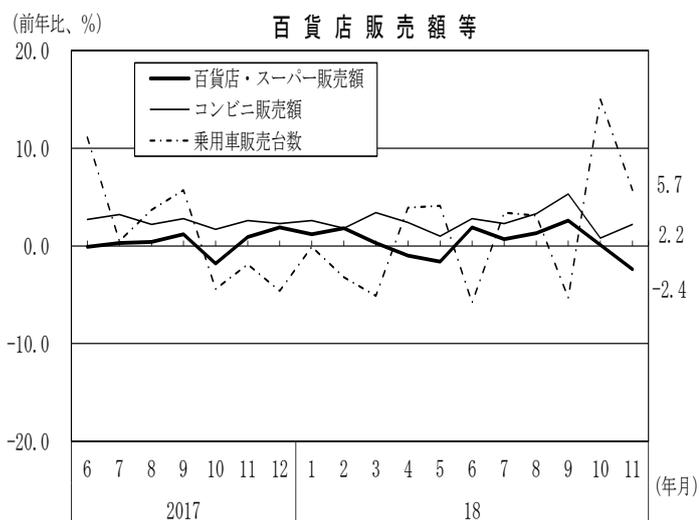
基調判断
(2018年11月を中心として)



今月の概要

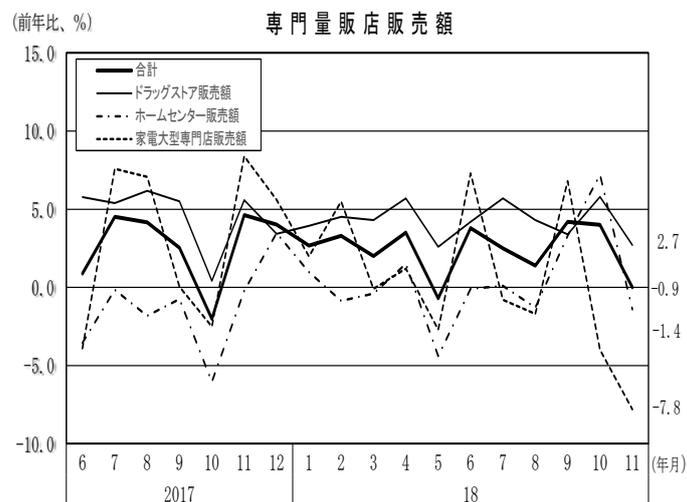
県内景気は緩やかに回復している。

1 個人消費 持ち直し



(資料)経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

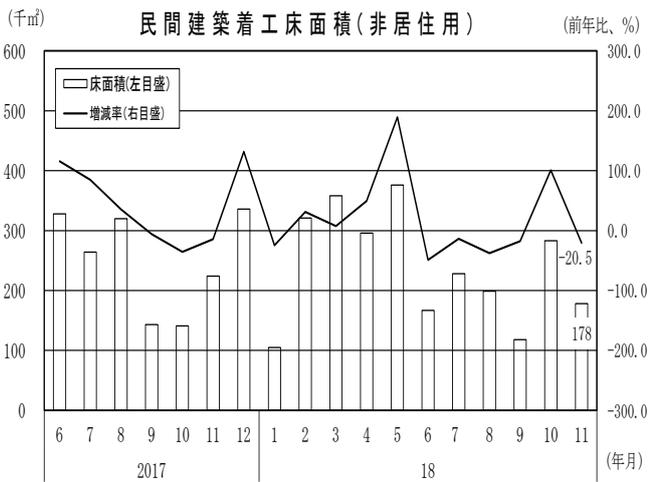
11月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、気温が高めに推移し、季節商品の動きが鈍かったことなどから、845億円で前年比2.4%減と6か月ぶりに減少した。百貨店は同6.3%減、スーパーは同1.3%減となった。コンビニ販売は、日配食品を中心に同2.2%増と堅調に推移している。乗用車販売(軽含む)は、昨年起きた不正検査問題の反動もあって同5.7%増加した。内訳をみると、小型車が同0.2%減、軽乗用車が同0.4%減となったが、普通車が同16.5%増と増加した。



(資料)経済産業省

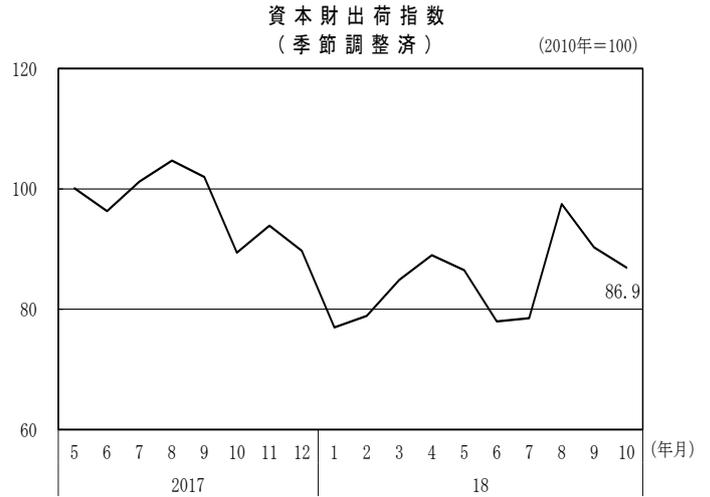
11月の専門量販店販売額は、612億円で同0.9%減と6か月ぶりに減少した。内訳をみると、ドラッグストアは314億円で同2.7%増と堅調を維持したが、家電大型専門店は136億円で同7.8%減、ホームセンターは162億円で同1.4%減と減少した。

2 設備投資 横ばいの動き



(資料)国土交通省

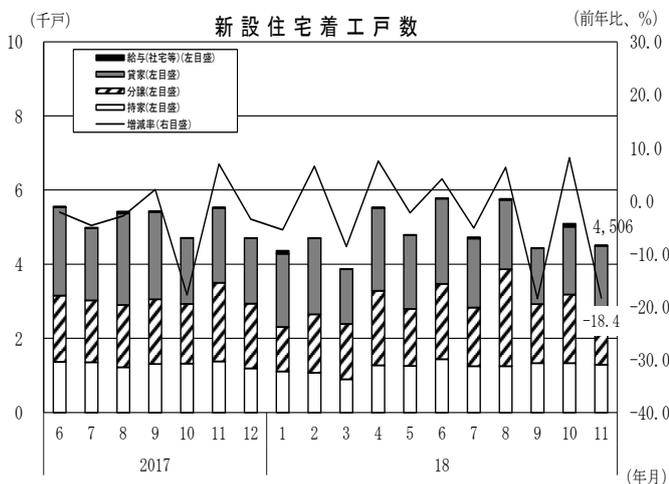
11月の民間建築着工床面積(非居住用)は、178千㎡で前年比20.5%減と減少したが、11月までの年度累計では前年同期比5.5%増と増加している。11月単月を用途別にみると、事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫などが減少した。



(資料)埼玉県

10月の資本財出荷指数(季節調整済)は、86.9で前月比3.8%低下した。

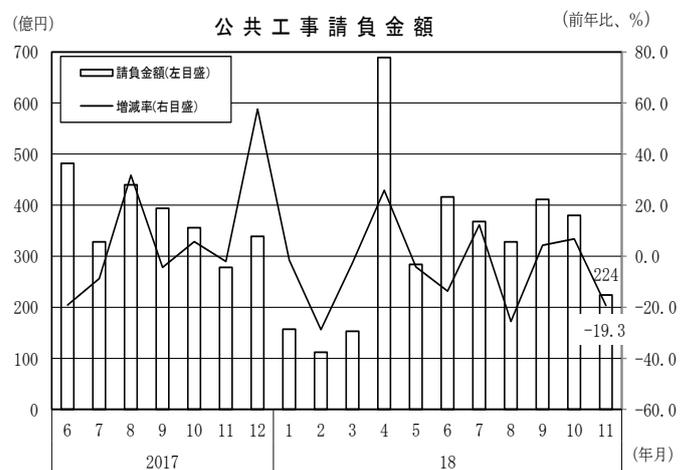
3 住宅建設 弱含み



(資料)国土交通省

11月の新設住宅着工戸数は、4,506戸で前年比18.4%減少した。利用関係別にみると、持家が1,289戸で同6.3%減、貸家が1,787戸で同11.5%減、分譲戸建てが1,215戸で同10.9%減、分譲マンションが203戸で同72.2%減といずれも減少した。

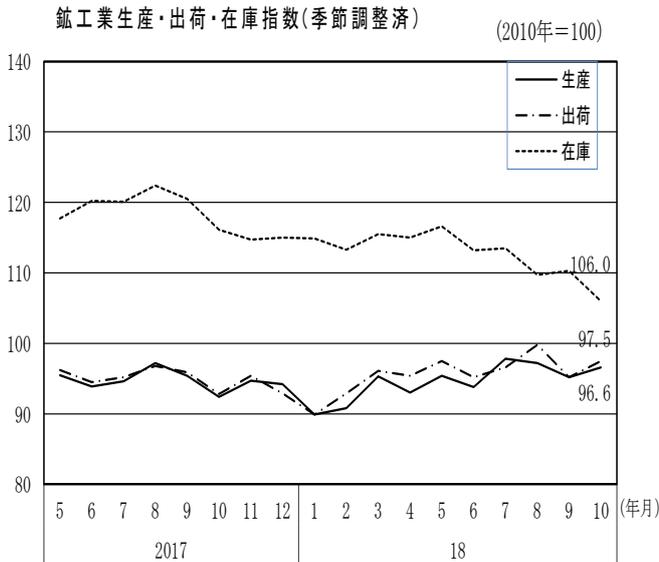
4 公共工事 横ばいの動き



(資料)東日本建設業保証株式会社

11月の公共工事請負額は、224億円で前年比19.3%減少した。11月までの年度累計では前年同期比0.7%減と横ばいの動き。11月単月を発注者別でみると、県、地方公社が増加したものの、国、独立行政法人等、市町村などが減少した。

5 生産活動 一進一退

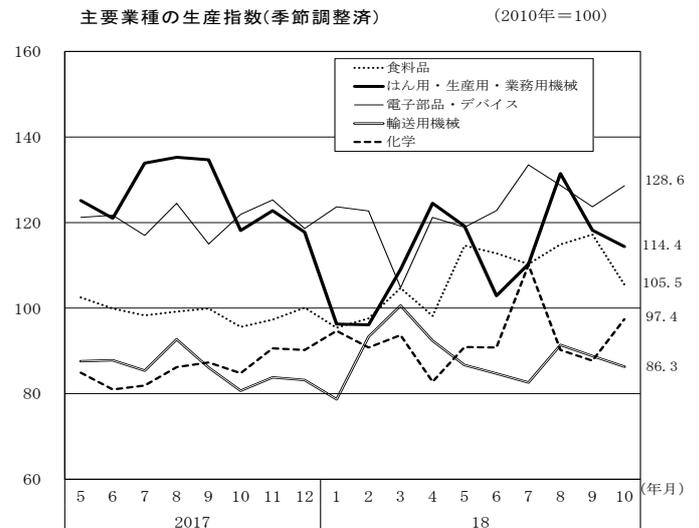


(資料)埼玉県

10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、96.6で前月比1.5%上昇した(3か月ぶりの上昇)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、業務用機械(医療用機器)、食料品(炭酸飲料)などが低下したが、化学(医薬品)、はん用機械(空気圧機器)などが上昇した。

出荷指数(同)は、97.5で同2.4%上昇した(2か月ぶりの上昇)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、業務用機械(医療用機器)などが低下したが、化学(医薬品)、電子部品・デバイス(集積回路)などが上昇した。

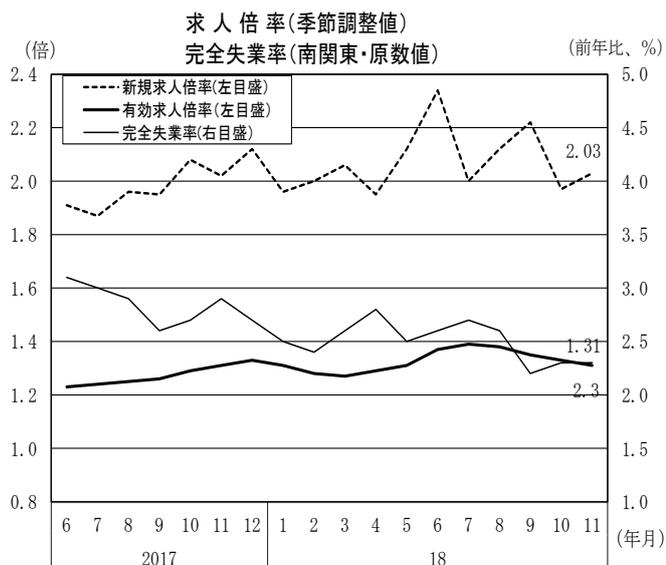
在庫指数(同)は、106.0で同3.9%低下した(2か月ぶりの低下)。はん用機械(内燃機関)、生産用機械(研削盤)などが上昇したが、輸送用機械(トラック)、鉄鋼(小型棒鋼)、非鉄金属(銅電線)などが低下した。



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、105.5で前月比10.0%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械(同)は、114.4で同3.2%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は128.6で同4.0%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送用機械(同)は、86.3で同2.8%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、97.4で同11.1%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

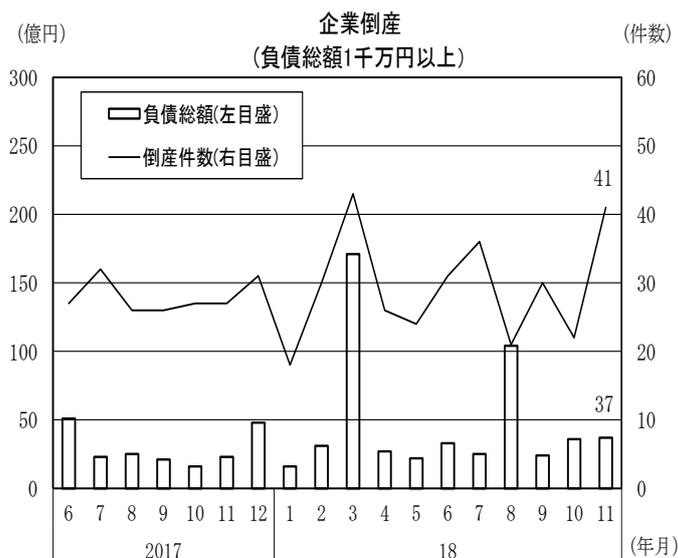
6 雇用情勢 着実に改善



(資料)厚生労働省、総務省

11月の有効求人倍率(季節調整済)は1.31倍で前月比0.02ポイント低下したが、新規求人倍率(同)は2.03倍で同0.06ポイント上昇した。完全失業率(南関東、原数値)は、前月比横ばいの2.3%となった。

7 企業倒産 件数、金額とも増加



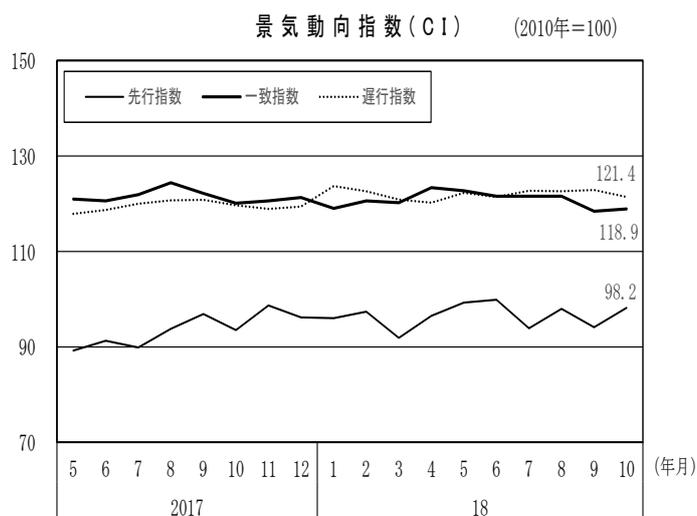
(資料)帝国データバンク

11月の企業倒産件数は41件で前年比14件の増加、負債総額は37億円で同14億円の増加となった。

業種別にみると、卸売業が8件で最多となっている。次いで小売業とサービス業がそれぞれ7件、建設業が6件、製造業が5件となっている。主因別では、販売不振が37件で最も多くなっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) 悪化を示している



(資料)埼玉県

10月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、118.9で前月比0.5ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、98.2で同4.1ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、121.4で同1.5ポイント低下し、2か月ぶりの低下となった。